

# 生活創造空間

## にし

NISHI

～アンラシネを目指します～

第35号 2018年2月15日発行

### 釜石訪問記 (生活創造空間にして販売中！バジルオイル、

にんにくオイルを追い求めて 編) ガッツ・ビーと西 阿部 浩之

2017年12月7日(木)・8日(金)、岩手県釜石市に行ってきました。今回は、生活創造空間にして行っている「復興支援市」でお世話になっている3事業所を訪ねました。今回は「まごころ就労支援センター釜石」を紹介します。

まごころ就労支援センター釜石は、就労移行支援、就労継続支援A型・B型の認定を受けて、事業を行い、「ひと・モノ・場をたいせつにすること」、「たのしいモノづくりをめざすこと」、「できない理由を考えないこと」の3つをモットーに、「障がい」を「障害」と思うことなく、それぞれの個性・能力・ペースに合わせた「しごとづくり」を目指しています。釜石市街地から少し車を走らせた、静かなところにぶどう畑と共にその建物はありました。平成29年11月に移転されたとのことで移転ホヤホヤのところにおじゃましてきました。バーベキューもできそうなところで、これからの可能性も色々と垣間見れる素敵な空間でした！



建物の外観です。素敵なおとこでした！



生活創造空間にしてもおなじみのバジルオイル・にんにくオイル・にんにく醤油を作っています。



ぶどう畑です。ワイン・シードルも作っているそうです。まわりのネットは「鹿よけ」だそうです。

(トピックス:生活創造空間にして「雄(ゆう)新聞」展示します！)

「雄新聞」は釜石市内在住で身体障がいの鈴木雄(すずきゆう)さんが身近な出来事や自身の体験などを新聞にまとめたものです。鈴木さんは、週3日、かまいしワーク・ステーション(障がい者就労施設)で部品の組み立て作業を行っています。仕事が休みの日は、障がい者自立センターかまいし まりん(障がい者デイサービス事業所)で創作活動などを行っています。「雄新聞」は、震災直後の2011年冬に創刊し、ほぼ隔月ペースで発刊し続け、2017年12月、節目の30号に達しました。記事とイラストは全て手書きです。震災後は引きこもりがちになる人も多く、この新聞を通じて仲間たちにエールを送っています。この皆を元気づけている「雄新聞」を生活創造空間にして展示させていただきます！2018年3月からの展示を予定していますので、お寄りの際は是非ご覧ください！！



釜石のスーパーで障害者週間に展示されていました。



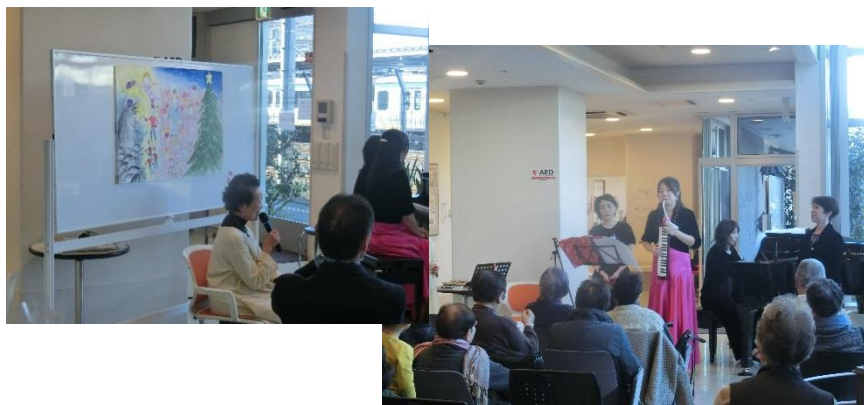
記事・イラスト全て手書き！温か味ある新聞です。

# おもちゃのはこ

## ワンダフル☆クリスマスコンサート in ガッツ&エヌ

2017年12月9日(土) おもちゃのはこによるクリスマスコンサートが開催されました。こちらのコンサート、今年で3回目の開催となります。懐かしい冬の歌から、わらべ歌、そして様々な国のクリスマスの風景と、今年も盛りだくさんの内容となりました。

また、このコンサートに合わせて行った「東北・熊本 復興支援市」。こちら也大盛況でした。皆様、いつもありがとうございます！



毎度おなじみ!? 生活創造空間にしひの…

ななくさ せっく

## 七草の節供

## 実施レポート



今回で8回目！平成30年1月6日(土)、生活創造空間にしひで「みんなの節供・七草の節供」が行われました。毎回おなじみのおもちゃの箱さんによるコンサート、七草粥やおしるこ等のバイキングに、約70名の方々が参加されました。江戸時代に広まったと言われている1月7日に七草粥を食べるという習慣。生活創造空間にしひでも皆さんで年頭にあって豊年を祈願し、「今年も家族みんなが元気で暮らせますように」と願いながらお粥をいただきました。

七草の節供  
新春コンサート！！



た〜こ〜、た〜こ〜、あがれえ〜



次回は、3月2日(金)桃の節供です。  
皆さんと一緒に祝いましょう。

七草粥、おしるこ、いつものおいしい餃子  
など。みんなで楽しくバイキング！



---

## 生活創造空間にし研修「高齢・障がい福祉分野の現状と課題について」

エヌ・クラブ 村田 雄一

---

今年度3回目、4回目のにし研修は、10月16日、11月29日に、連続研修として行いました。10月は、藤棚地域ケアプラザの小林所長と横浜障がい相談システムねくさすの渡辺所長より、世帯(家族)支援の話や障がいから高齢への制度移行、分野を超えた連携について、孤立の問題等について座談会形式でお話していただきました。11月は10月のお話を基に、制度移行、分野を超えた連携に関わる事例を基に“顔が見える関係づくり”を目的として、グループワークを行いました。今回も、併せて約80名と、沢山の方々にご参加いただきました。

実際にご参加いただいた皆様からの感想として

- ・ 町内会(町内会長を含む)の活動や民生委員の方々の日々の活動を知る機会があれば、『地域』の大きなテーマだけではない話や実状を知ることができると思います。連携の第一歩になるために、地域の方々からの声を聞く機会を。
- ・ お困りの事を大きく包み込むように、高齢・障害等分野を区別することなく支援していく仕組みができそうな気持ちになれる研修でした。
- ・ 制度の違いによって支援の形があまりに変わってしまうと、ご本人(当事者)にも大きな負担がかかってしまい、誰のための何のサービスなのかが、見えなくなってしまう。「融通」が効くくらい選択肢があれば良いのではないかと。また、それができるよう、連携を図りながら情報を知っておく、もしくは、ここに話を聞けば良いという所を見つける所を設ける事が必要だと感じました。
- ・ 障害→介護と、65才になったからといって簡単に移行できるものではないと思います。長く関わってきた支援者や制度が変わってしまうことで、ご本人の望む生活や日常生活を失うのでは本末転倒であると思いました。
- ・ 支援の「移行」という支援者の視点でGWに参加している自分に気づきました。本来は、当事者、ご家族の立場でニーズを把握し、「移行」ではなく「支援の継続」をいかに継続していくかが、大切であると感じました。
- ・ 自立支援協議会等のように、現場の支援者がつながるネットワークや「場」が必要。知恵を持ち寄ることで、支援の幅が広がり、隙間を支援できるのではないかと思います。
- ・ こういった機会を作りながら一步一步理解を進めていくことが必要だが、担当者が代わるとまた振り出しに戻るということが残念。何か仕組みで残せる方法はないか。

様々なご意見、ご感想を頂きましたが、総じて、このような研修がきっかけで、高齢・障がいなど分野の枠にとらわれず、顔が見える関係が作れるようになり、気軽に相談できるようになれば、利用者さんにとっても、支援者にとっても暮らしやすい、働きやすい場所になっていくのではないかと思います。

次回のにし研修は、3月7日(水)、18:00~20:00で行います。今年度、最後のにし研修となります。テーマは“西区で「我が事・丸ごと」は実現できるのか??”です!!スマイルポートの山田さん、藤棚地域ケアプラザの小林さん、横浜障がい相談システムねくさすの渡辺さんにお越しいただき、今までの話を振り返りながら、シンポジウム形式で行う予定です。

ぜひ、沢山の参加をお待ちしております!!分野、領域を超えた、我が事・丸ごと地域づくりを一緒に考えていきましょう!!

# エヌ・クラブ 余暇行ってきました！



エヌ・クラブでは年に一回、日ごろの仕事から解放され作業室ごとのレクリエーションを行っています。今年は鶴見にある KIRIN ビール横浜工場に行ってきました。

最初はガイドの方に案内され、工場内の見学をし、麦芽の試食、プロジェクトンマッピングを使ったビールの作り方など内容が満載で、試食では食べ比べ、一番搾り、2 番搾りの違いなど普段飲んでいる人でも分からない事を知る事が出来ました。

見学が終わった後は皆さんで試飲の時間があり、20 分間 KIRIN の製品が飲み放題でした。アルコールは未成年の方もいましたので皆さん飲み

ませんでした。ノンアルコールビールの「零壹」と柿ピーを食べながらわいわいと過ごしています。ノンアルコールですが、普段ご利用者さんとお酒を飲む機会はないので、普段仕事では見えない意外な一面がみられたり等、不思議な感覚で皆さんと少し打ち解けられた気がします。最後に「やっぱり SUNTORY だ。」とガイドの前でおっしゃる方もいましたが、笑顔が絶えない一日でした。

その他、エヌ・クラブではその他中華街食べ放題、カラオケ、ズーラシアやガッツ・ビーと西と合同で行っている年に 5 回の土曜余暇等、様々なレクリエーションを企画しました。今後も皆さんが楽しめる物を企画して生活・創造・空間にしを盛り上げて行きます！

## 男 もや田のもやもや日記 THE・冬

今回で、このもやもや日記も 4 回目を迎えました。今年度は、四季をテーマに書かせていただいておりますので、最後は冬について書かせていただこうと思います。冬は、クリスマスや正月など、大きなイベントが盛りだくさんで、楽しいことも沢山ありますが、一方で、先日、都心では 4 年ぶりの大雪にみまわれ、皆さんも多かれ少なかれ影響を受けたことと思います。我が家も朝玄関を開けようとする、玄関前まで積雪しており、扉が開かないという状況に陥りました。。(すぐに大家さんが雪かきをしてくれ、事なきを得ましたが…)

そんな中、私は、いつもより早起きをして交通情報を確認し、いつもの通勤路を慎重に歩く。子供も、いつもより早起きをして窓の外を確認し、いつもの通学路を楽しく歩く。同じ状況なのに、子供は楽しく過ごせることを羨ましく感じてしまいました。

生活創造空間にし URL：<http://www.souzoukuukannishi.org>

【発行・印刷】生活 創造 空間 にし広報委員会 〒220-0055 横浜市西区浜松町 14-40

☎ 045-250-6506 (ガッツ・ビーと西) ☎ 045-250-6470 (エヌ・クラブ)